



絵本作家として活躍する刀根里衣さんは福井県の生まれで、現在は日本とイタリアの2拠点で創作活動を行う。

小学生のころからイラストレーターになる夢を抱き、美大を卒業。2011年にイタリア・ボローニャの児童書ブックフェアでイタリア人編集者からその才能を見出され、“Questo posso farlo”（邦題『なんにもできなかったとり』）でデビューをはたす。

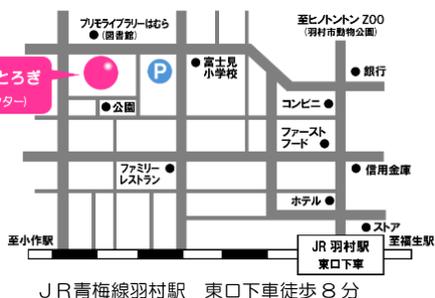
その後、2013年にボローニャ国際絵本原画展において「国際イラストレーション賞」を受賞。翌年、受賞作をベースに絵本“El viaje de PIPO”を創作する。その日本語版『ぴっぽのたび』は2014年にNHK出版から刊行、日本でのデビュー作となる。本書は幻想的、かつ繊細な筆致が高く評価され、メディア等でも話題に。

バレンタインデー用に創作した『きみへのおくりもの』、大切なひとの死をみつかった『おもいで星がかがやくとき』、白いうさぎを主人公にした「モカシリーズ」など、多くの作品を手がける。いずれも読者より大きな反響を得ている。

刀根里衣

とねさとえ

『おもいで星がかがやくとき』NHK出版



『モカと幸せのコーヒー』NHK出版